

一般質問での議員からの提言及び市当局の答弁



	政策的提言	提言要旨	当局の考え
1	現庁舎移転後の跡地利活用について	現庁舎移転後の跡地利活用については周辺住民の意向を踏まえた取り組みが必要と考えるが、進捗状況は。	庁内の検討体制を立ち上げ、現庁舎移転後すみやかに跡地の活用に着手できるよう検討を進め地域住民の意向確認を踏まえ、再開発構想の具体化に取り組んでいきたい。
2	新庁舎建設位置について	旧空港跡地の無償譲渡を国に要請しようという動きもある、早急に場所を決定すべきと考える。	アクセスの良さや、利便性を考慮しなければならない。緊急防災減災事業の申請もあるため、3月・4月には国、県に打診できるように検討したい。
3	桃原用昇奨学基金の運用状況について	桃原用昇奨学基金を学生の新生活支援金も含めて運用改善できないか。	桃原氏本人の意向を尊重し、利用者のことも念頭に、意見交換をしながら支援金も検討していきたい。
4	八重山音楽・芸能館の建設について	八重山音楽・芸能館は文化発信の場として不可欠な施設だと考える。	建設費・維持管理費などのクリアすべき課題がある。島の魅力を総合的に発信できる施設として方向性を調査研究したい。
5	選挙権年齢の引き下げについて	選挙権年齢が18歳に引き下げられることで、高校生を対象とした教育現場での周知が必要と考える。	八重山商工高校で出前講座や模擬投票を実施する予定で進めており、他の高校でも実施に向けて調整したい。
6	奨学基金の給付制度について	沖縄県が給付型の奨学金制度導入を検討している。本市も独自の給付型奨学金の導入をすべきと考える。	地方創生の観点からも、石垣に戻ってきて本市に貢献する人への奨学金免除する制度の方がよいと考える。返還免除型の要項を作り上げていきたい。
7	企業版ふるさと納税について	自主財源確保の観点からも企業版ふるさと納税の活用に向け、各企業への市長の営業力が必要になると考える。	石垣島としてのネームバリューは高い。企業としても寄付の対象としては魅力的な地域ではないかと思う、島のPRと有用性を企業のトップに話していくことが必要と考えている。
8	子どもの貧困対策について	就学援助の支給時期が10月となっているが、保護者に負担のかかる、入学時期に新入学児童生徒用品費が支給できるよう改善すべきと考える。	所得証明が6月以降となるため、10月に支給している状況にある、全国の自治体を参考に調査研究していきたい。
9	防災ラジオの活用について	防災行政無線は台風時は全く聞き取れない状況にある。室内でも視聴可能な防災ラジオを導入すべきと考える。	防災行政無線などの既存のシステムを補完する意味で防災ラジオは有効な手段だと考える。関係機関と協議し、導入を検討したい。
10	市有地の管理について	市有地借地料の滞納額が1億1,200万円となっている。滞納整理の基準を作って対応すべきと考える。	滞納整理は個別的、案件ごとに担当者が作業をしている。全体の使用料に対して使えるような内容の事務処理要領のようなものを作成し対応したい。
11	国立自然史博物館について	国立自然史博物館の誘致に向け、本市としての取り組みは。	市と民間団体が共催で7月にシンポジウムを開催する。市民の機運を盛り上げていく観点も大事にしながら、自然史博物館に対する関心が高まるような内容のシンポジウムを開催したい。
12	旧空港跡地について	旧空港跡地の区画整理事業の導入に5年弱かかるということだが、その他の計画を円滑に進めるためにも、環境アセス期間を前倒しする必要があると考える。	環境アセス期間をできるだけ圧縮して早めに事業着手できるように実施したい。
13	本市の介護職人材の不足について	本市は介護認定率が全国に比べ高く、介護職の人材が不足すると予想される。地域総合戦略に介護職人材確保を位置づけるべきと考える。	沖縄県地域医療介護総合基金を効果的に活用し、本市独自の取り組みが必要であれば追加で地域総合戦略に盛り込むことも検討したい。
14	観光客誘致への取り組みについて	今後、増加することが予想される外国人観光客への対応が課題と考える。	南ぬ島石垣空港国際線ターミナルの改築など、ハード面の改善も必要だが、多言語化によるパンフレットの作成やWi-Fi整備の充実化を図りたい。